

令和 6 年 6 月 24 日

市政記者クラブ 様

【避難行動モデル検討ワークショップ
に関すること】

西区区政部総務課 (鈴木・松岡)
電話：523-4510

【想定し得る最大規模の風水害リスク
シナリオに関すること】

防災危機管理局想定最大規模災害
対策推進課 (成瀬・山田)
電話：972-4252

避難行動モデル検討ワークショップの開催について（当日取材依頼）
～～想定最大規模の風水害発生時における逃げ遅れゼロを目指して～～

西区は想定し得る最大規模の風水害が発生すると、区内すべての地域が床上浸水する可能性があり、風水害に対する備えが重要な地域です。そこで災害時に区民各自が適切な避難行動をとり、被害を最小限に留めることができるように、令和 5 年度からワークショップ形式によるマイ・タイムライン^{※1}の作成支援に取り組んでおり、令和 10 年度までに区内全ての学区を対象にワークショップを開催する予定です。

また名古屋市では、想定し得る最大規模の風水害が発生した場合、通常の対応力をはるかに超える被害が想定されることから、逃げ遅れゼロの実現を目指すためにも、被害の様相などを分かりやすく見える化した「想定し得る最大規模の風水害リスクシナリオ^{※2}」を作成し、周知・啓発に取り組んでいます。

山田支所管内は、想定し得る最大規模の洪水、高潮が発生すると、避難が困難となることが想定されることから、今年度は山田支所管内の 5 学区^{※3}を対象にワークショップを開催いたしますので、当日、取材にお越しくくださいますよう、よろしくお願いします。

記

「避難行動モデル検討ワークショップ」概要

日 時 : 令和 6 年 7 月 6 日 (土) 午前 9 : 30～11:30

場 所 : 西区山田支所 講堂
西区八筋町 358 番地の 2

内 容 : (1) 講義 適切な避難行動のために必要な知識
(ハザードマップ・防災気象情報の見かた、想定最大規模の風水害が発生した際のリスク 等)
(2) グループワーク マイ・タイムラインの作成・共有
(3) まとめ グループワークの発表、講評 など

(次ページに続く)

※1：台風・大雨や地震などのときに「いつ」「誰が」「どのように行動するか」を時間の流れに沿って考えておくものです。

2：災害の発災前から発災後以降に発生し得る被害の様相や身の回りで起こる状況、リスクを時系列で具体的にイメージできるように整理したものです。

シナリオの項目として、雨・風・河川の状況や気象情報・防災情報の発表、名古屋市の動き、ライフラインや道路・鉄道の状況と共に避難場所・自宅・外出先等について、豪雨や台風等の特徴を踏まえて整理しています。

また、ハザードマップでは見えない風水害時の様々なリスクや発災から被害がピークに至るまでの様相についてもまとめております。加えて、事前に備えておくべき日頃からの備えなども掲載しております。



想定し得る最大規模の
風水害について

3：山田、平田、比良、比良西、中小田井学区（大野木、浮野学区については、昨年度ワークショップを開催しました。）